

建設従事者カリキュラム

原則、一日 6 時間の教育です。

ただし、現場の作業工程の都合上、建設従事者を集めることができない場合やまとまった時間が確保できない場合などは、一定の条件のもので、学科 4 時間と実技 2 時間を二日間に分けて実施することも可能です。

科目	内容	時間
1. 労働安全衛生関係法令	事業者の責任と労働者の遵守義務	30分
2. 安全施工サイクルに関する事項	安全施工サイクルの実施方法	60分
3. 現場の労働安全衛生に関する具体的実施事項	① 現場の安全管理体制 ② 現場での安全点検 ③ 有害物、有害作業、有害場所等の健康障害防止 ④ その他労働安全衛生に関する具体的実施事項 ◎ 建設機械による災害防止 ◎ 墜落による災害防止 ◎ 土砂崩壊による災害防止 など	90分
4. 労働災害の事例及びその対策	作業行動による労働災害防止対策 (ヒューマンエラー関係含む)	60分
5. 実技訓練 (現場でできる実技体験訓練)	① 服装及び保護具(呼吸用保護具、保護帽、安全带等)の適切な装着方法 ② 現場での合図の種類、方法及び確認 ③ 適切な安全指示の方法と対応 ④ その他労働安全衛生に関する実技訓練 ◎ 建設機械による危険の防止 ◎ 足場からの墜落防止 など	120分
合計		360分

上記の の部分は、現場の工事の種類、受講者の職種などに応じて、次のような教育内容を用意しています。

教育メニュー	
<p>建設機械による災害防止</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 重機の死角➤ 合図の方法 など <p>墜落による災害防止</p> <ul style="list-style-type: none">➤ ハーネス型安全帯の正しい使い方➤ 脚立からの墜落防止➤ のり面からの墜落防止➤ 可搬式作業台からの墜落防止 など <p>土砂崩壊による災害防止</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 土圧の体験➤ のり面こう配の体感 など	<p>爆発・火災による災害防止</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 溶接作業中の火花の飛散 など <p>電気による災害防止</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 電気機械器具の正しい使い方➤ 漏電遮断器のテストボタンの使い方 など <p>交通労働災害防止</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 避難訓練の方法➤ 消火器の使い方 など